



2019年11月6日

各位

会社名 株式会社 はせがわ  
 代表者の 代表取締役社長 江崎 徹  
 役職氏名  
 (コード番号 8230 東証第一部・福証)  
 問合せ先 経営企画部長 吉安 大輔  
 T E L 03-6801-1074

### 2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)の連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値の差異

(2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	10,032	155	125	45	2円48銭
今回の実績値 (B)	10,196	15	4	△30	△1円67銭
増減額 (B-A)	164	△139	△120	△75	-
増減率 (%)	1.6	△90.2	△96.5	-	-

(注) 当社は、2020年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、前期実績を記載しておりません。

#### 2. 差異が生じた理由

売上高は消費増税の駆け込み需要の取り込みなどにより仏壇仏具事業が堅調に推移し計画を上回った一方、売上総利益高は屋内墓苑事業などの不振により計画を下回りました。また、新基幹システム構築などの事業基盤整備に関する費用計上が当初計画を上回った影響により、営業利益が前回予想数値を下回り、その結果、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても前回予想数値を下回りました。

なお、通期連結業績予想につきましては、消費増税が10月以降の業績に与える影響など、不確定要素があるものの、売上高は当初計画を達成できるものと考えております。特に売上総利益高に大きな影響を与える屋内墓苑事業は新規受託販売施設の販売開始を契機とし、業績回復を目指してまいります。一方、営業利益以下の各段階利益は第3四半期以降の販売費及び一般管理費の見直しを図ることで達成を見込んでおります。この結果、前回発表予想の変更はございません。

(注) 通期連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性がございます。

以上